

学科名	電気通信工学科					
科目名	電気電子情報工学実験Ⅱ					
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期	
必修・選択の別	必修科目					
担当者	平野 剛					
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>5テーマの実施を通して、学習・教育目標 A7,A8,A10,B1,B2,B4,B6およびC1,C2,C3,C4の達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝送方式の基本となるアナログ変復調の原理を知り、その特性が測定できる。</li> <li>・シミュレーションソフトを利用しデジタル通信システムの構成とその特長を知る。</li> <li>・コンピュータ制御に欠かせないアナログ信号とデジタル信号の変換(AD、DA)の基本原理を学ぶ。</li> <li>・ロボットアーム制御系の構成を知り、構成要素の特性を知るための測定ができる。</li> <li>・降圧用チョッパ制御方式スイッチング電源を製作し、電源の動作を知り電源効率の計算ができる。</li> </ul>					
日程と内容	<p>9/19 変復調実験  9/26 変復調実験  10/3 課題に対する調査、まとめ  10/10 変復調シミュレーション  10/17 変復調シミュレーション  10/24 課題に対する調査、まとめ  10/31 ロボット制御  11/7 ロボット制御  11/14 課題に対する調査、まとめ  11/21 A/D変換・D/A変換回路  11/28 A/D変換・D/A変換回路  12/5 課題に対する調査、まとめ  12/12 高電圧実験  12/19 高電圧実験  1/9 課題に対する調査、まとめ  1/16 予備日</p>					
成績評価基準	定期試験		実技	20%		
	臨時試験		部外評価			
	報告書・レポート	60%	プレゼンテーション			
	課題	20%	計	100%		
	演習					
授業到達目標の達成度	到達目標の項目は概ね実験内容に盛り込むことが出来たと考えている。					
反省点	この実験科目は5人の教員がそれぞれの実験を担当しているため、どうしても学生評価にばらつきが出る。しかし各実験の評点を単純に足し合わせているため、ある程度平均化されていると思われる。ただその弊害として、1つの実験の評価が非常に低くても結果として合格してしまう事がある。そこで実験会議を複数回開催し、教員間の意思疎通及び採点基準の平均化を図りたい。					
来年度の計画	来年度も同じ実験テーマだが、一部教員が新規の非常勤教員に変わるため、学期初めに会議を行いしっかりと前年度の反省を生かせるようにしたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.4であったため概ね学生は満足していると思われる。各評価は4.0～4.2の間に分布している。しかし個別にアンケートをみると学生が非常に満足している実験もあるので、他も実験も学生に興味を持てるように改善していきたい。					
履修登録者数	59名	定期試験 受験者数	60名	合格者数	52名	合格率 87%